

希望

清瀬市立清瀬第三小学校
学校便り 6月号
令和5年5月31日発行

話を聴くために

副校長 大西 一緒

先日の学校公開には多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。平日の公開でしたが、保護者の皆様のお子さんを見つめる温かい目に触れ、嬉しく思いました。

さて、先日保護者の方からお子さん自身もつ不安や悩みへの対応について話を聞かせていただく機会がありました。そのお話は、お子さんによっては、自分の不安や悩みを先生方にうまく伝えることができないケースもあるというものでした。家庭で、先生に話すタイミングや聞き方等をアドバイスできないと、先生方に伝えられなかったり、そのことへの対応について不安があったりする場合もあるという話もいただきました。そこで、学校ではお子さん自身の気持ちを大切に、対応についても確認して進めていければと話したのですが、その時に話を聴くという観点で、岐阜聖徳学園大学の名誉教授で僧侶、臨床心理士でもある譲西賢さんの評論を思い出したので、その一部を紹介させていただきます。

『今回は、乳児期から思春期までのお子さんの親御さんに、心がけてほしいことを述べます。何よりも予防的カウンセリングが必要ということです。専門家が行うカウンセリングに対して身近な家族や仲間によって行われるものです。親子共々にこれは必要です。職場や学校・社会生活で生じた出来事・不安・ストレス等を身近な家族や仲間話してそれらをしっかり耳を傾けて聴いて受容してもらい、心の憂さやストレスを低減・解消することを意味します。毎年小中学生の学校生活での適応の難しさや親御さんのお子さんへの不適切な対応の報告数は増加しています。背景には、家庭での親子関係において、お子さんの乳児期から予防的カウンセリングの機能不全が大きく影響を及ぼしているのではないかと私は危惧しています。また、交流サイト等の利用者の増加が、家庭でストレスを吐き出せないことの代替としての行為による増加だとしたら、それは社会の深刻な問題です。人間は誰もが自己統制が必要な職場・学校・社会において必ずストレスを感じます。健全な社会はストレスがない社会ではなく、予防的カウンセリングでストレスを低減・解消できる社会だと思います。ご家庭で食事やくつろいだ時の日常会話が、予防的カウンセリングの役割を果たします。家庭では、お子さんの言い分をまず静かに最後まで聴いて、「あなたの言うことは分かった。よく話してくれたね。」と言葉を掛けてください。そして、その内容が辛くて悔しいことだったら「それは辛くて悔しかったね。」と、その気持ちを鏡のように伝え返してください。それを最優先させずに親御さんの思いや意見を先に言うと、予防的カウンセリングになりません。「自分の親は分かってくれた」とお子さんが実感してくれることが何よりも大切です。それができてから、親御さんの思いを冷静に伝えてください。現実には、機会が少ないとか、親御さんがストレスを抱えたまま我先にとお子さんへストレスを吐き出して解消されていませんか。そんな時こそ、ご自身の緊張・不安・ストレスを解消して、ゆったり落ち着いてお子さんと向き合う工夫が必要なのです。例えば気心の知れた方や身近な方、スクールカウンセラー等の協力を得てご自身が予防的カウンセリングを受けること、趣味の活動等による気分転換などによって、不安、ストレスを解消して「今、この状態ならわが子の予防的カウンセリングができるぞ」と確信してからお子さんに向き合ってください。』

自戒を込めて紹介させていただきました。聴く側の心や気持ちの状態が問われているのでしょうか。学校も子供たちや保護者の方のお話を謙虚に聞いていけるようにしていきたいと考えています。

2年生のようす

「おはようございます!」毎朝、元気いっぱいのあいさつで教室に入ってくる2年生。教室がぱあっと明るくなる瞬間です。進級してお兄さんお姉さんになった2年生は、1年生と一緒に活動をととても楽しんでいます。少し紹介します。

4月21日は一年生を迎える会がありました。1年生の目の前に座ったらとてもドキドキしたそうで、緊張した面持ちで参加していました。発表するときは堂々としており、「なかよくあそぼうね!」のメッセージが届いたのではないのでしょうか。5月11日は遠足でした。1年生と稲荷山公園へ電車に乗って出掛けました。座席が空いていると、1年生に「どうぞ、すわって。」と声を掛ける姿も見られました。縦割り班遊びの準備や片付けに夢中になっているところで、予想外の急な雨になってしまった遠足でしたが、2年生は最後までよくがんばりました! 校長先生にも「立派でしたね。」と声を掛けてもらい、うれしそうにしていました。5月18日には、1年生に三小を案内する「三小たんけん」を行いました。廊下の歩き方、特別教室の入り方などを教えてあげたり、1年生の目線に下げて話しかけてあげたりと、親切な様子がたくさん見られました。

今度は1年生のときの生活科の学びを発展させて、町探検に出かけます。その名も「2の1たけのこたんけんたい」です。手作りのバッチと双眼鏡をぶら下げ、竹丘の町を探検してきます。どうぞ地域の皆様、探検中の2年生を見かけた際には、声を掛けていただけると嬉しいです。



学級環境適応感尺度「アセス」について

児童理解を充実させるため、学級環境適応感尺度「アセス」を毎年行っています。実施するのは3年生以上で、年間2回（7月・12月）です。

「アセス」は、児童がどんなことで、どの程度困っているのかを測定します。次の6つの観点（①生活満足感や、②教師サポート、③友人サポート、④向社会的スキル、⑤非侵害的關係、⑥学習的適応）で、児童や学級の変容を捉えます。

学級適応感は子供自身がどう感じているかを表すので、教員の日常の見立てと異なる結果になる場合もあります。両者を合わせて考えることでよりきめ細かい支援を行うことができます。支援の必要な児童の早期発見・早期対応、よりよい学級集団作りなどに活用することもできます。

子供たちが、自分の良さを発揮し、充実した学校生活を送ることができるよう、ご理解・ご協力をお願いします。

遠足(3・4年生)

4月27日(木)に三小から清瀬駅まで歩き、そこから電車に乗って、日和田山、巾着田に行きました。行き帰りの道のりでは3・4年生ともに初めて電車を利用した遠足のため、電車の中でのマナーについて考えることができました。友達との電車での移動は初めてのこともあり、楽しく思い出に残ったようです。

日和田山の登山は、慣れていない山道を歩くということに子供たちは少し大変そうでしたが、山頂付近から見た景色に癒されたのか帰りも元気に歩くことができました。

巾着田ではたてわり班でお弁当を食べたり、遊んだりする時間がありました。今後、学校でのたてわり班遊びや学校生活に生きてくればと思います。



学校公開・セーフティー教室

5月24日(水)、体験型安全教育支援機構の方々を講師にお迎えし、「災害時(地震)の安全教育」をテーマにセーフティー教室を行いました。災害時に気を付けるキーワード「わ!たこやきおとうさん」を教えてもらい、「大切なのは、揺れはじめの8秒」「8秒の間に安全なところに動くこと」「すばやく移動すること。また地震か、と油断しないこと。」「うさぎさんのポーズで安全な場所を探して、ねずみさんのポーズで走って、かめさんのポーズで身を守る」等、低学年・中学年・高学年の発達段階に合わせて、具体的にお話をいただきました。また、実際に疑似瓦礫の道を歩いたり、すきまから這い出したりする体験も全員することができました。

災害が起こったときどうするか、ご家庭でもぜひ話し合ってください。

【児童の感想から】

- ☆くびのうしろをまもることがたいせつだとわかった。
- ☆8びょうのあいだに、あぶなくないところににげることがたいせつ。
- ☆なるべく部屋をせいりせいとんして、ひなんできる場所をふやそうと思った。
- ☆場合によってどこににげるかをしっかり見て動こうと思った。
- ☆「わ!たこやきおとうさん」をしっかり思い出して、安全なところにひなんしようと思った。



6月の行事予定

6月の生活目標 : きまりを守って、友達と仲良くしましょう				時数					
日	曜	学校行事	PTA・地域	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	本の時間 多摩六都科学館見学(4) ①②石田波郷(1)		4	5	6	6	6	6
2	金	プール開き朝会 委員会活動 内科検診(3.5) 読書旬間終		4	5	5	5	5	5
3	土								
4	日								
5	月	全校朝会 水泳指導始		4	5	5	6	6	6
6	火	安全指導 算数パワーアップ 宣伝集会		4	4	4	5	5	5
7	水	立科移動教室(5)		4	5	5	5	6	5
8	木	本の時間 立科移動教室(5)		4	5	6	6	6	6
9	金	クラブ③		4	5	5	5	5	5
10	土								
11	日								
12	月	全校朝会		4	5	5	6	6	6
13	火	遊びの広場集会		4	5	6	6	6	6
14	水	音楽朝会 算数パワーアップ		4	4	4	5	5	5
15	木	本の時間 1年5時間授業始		5	5	6	6	6	6
16	金	ぴかぴか朝会 教育実習終 ウェブ調査(4)		5	5	5	6	6	6
17	土	土曜公開授業 3時間授業 きらり個人面談(終)		3	3	3	3	3	3
18	日								
19	月	全校朝会 ⑤石田波郷(4)		5	5	5	6	6	6
20	火	科学教室(5) ③石田波郷(2) ②石田波郷(3)		5	5	6	6	6	6
21	水	ふれあい集会 ⑤石田波郷(6)	避難所運営協議会 円卓会議 学校運営連絡協議会	5	5	5	5	5	5
22	木	本の時間 一斉下校訓練 ③石田波郷(5)		5	5	5	5	5	5
23	金	クラブ④ 都学力調査(終)		5	5	5	5	5	5
24	土								
25	日								
26	月	全校朝会		5	5	5	6	6	6
27	火	こころの劇場(6)		5	5	6	6	6	6
28	水	午前授業		4	4	4	4	4	4
29	木	本の時間 保護者会(1)		5	5	6	6	6	6
30	金	短縮時程 委員会活動 個人面談①		5	5	5	5	5	5

相談週間

6月の生活指導

○生活目標○「元気にあいさつをしよう」

登校時に玄関で立っていて、「おはようございます！」と元気なあいさつをもらおうと、こちらもとても気分がよくなります。あいさつは人との良好な関係に繋がりますので、力を入れて指導していきます。

○水難事故の防止○

気温が高い日が増えてきました。そうすると川遊びのことが心配になります。お子さんだけで川など水のある場所に行かせない、また、水深が浅いところでも目を離さない、ライフジャケットを活用するなど、ご家庭で防止対策をしっかりと、万が一のことがないように備えましょう。

○一斉下校○

6月22日(木)は、緊急時を想定した一斉下校を行います。校庭に色コースごとに集合し、一斉下校の際の注意点を確認して下校をします。教員でコースごとに引率しますが、保護者の方でご協力いただける方は、一斉下校の見守りをしていただけると助かります。よろしくお願いいたします。